第 4 章　帯広市周辺の観光

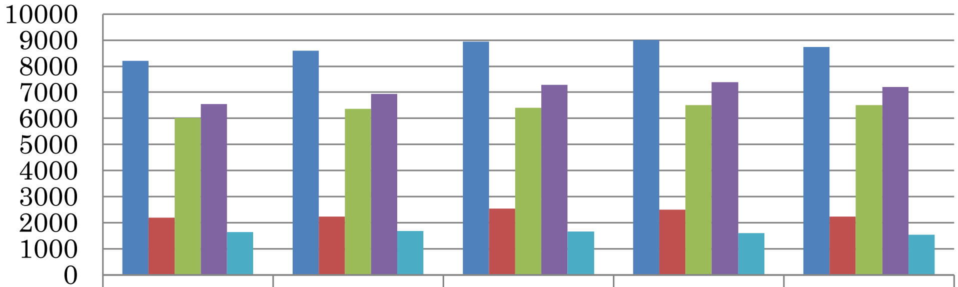
國枝　なつき

4.1　観光事業の実態

おおらかで豊かな風景の十勝は、大地の恵みの味覚や世界的にも希少なモール温泉、雄大なロケーションを活かしたアウトドアスポーツなど、楽しみが尽きない。また、十勝の自然環境や主要産業である農林水産業を活かし、ホーストレッキングなどのアウトドア体験や農作業体験などのグリーンツーリズムも展開されているほか、恵まれた農畜産物を活かした地場食材を提供する飲食店や直売所も多くあり、注目されている。

観光客の入込数は、近年、年間約 900 万人で横ばい傾向にあり、14 支庁中 8 位となっている。しかし、平成 19 年まで帯広市を中心に開催されていた WRC が、平成 20 年度から道央開催となったため、2008 年は全体的な観光入込客数の減少となった。そのことを受けて道外客が大幅な減少となっている。観光客の主流は、道内客（72.3%）、日帰り客（82.2%）で、季節的には 6 月から 10 月の観光客が 65%を占めている。観光資源が点在していることなどから、通過型の観光地となっている。

グラフ4-1　観光入込客数　　（千人）



	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
入込総数	8196	8602	8944	8995	8745
うち道外客	2186	2232	2533	2488	2238
うち道内客	6010	6370	6412	6507	6506
うち日帰客	6556	6931	7281	7393	7212
うち宿泊客	1639	1670	1663	1602	1532

出典：十勝観光 HP

主要観光地点が経済状況の悪化により、軒並み対前年比で減少傾向となっている中で、道の駅なかさつないが増加となっている。帯広市周辺の観光施設としては、音更町が二つあがっているが、帯広市は入っていない。帯広市は観光地としては好まれていても、観光施設はあまり有名ではないのかもしれない。

表 4-2 観光入込客数調査で対象とした観光施設等の上位 5 ヵ所

観光施設名(市町村名)	観光入込客数(千人)	前年度比(%)
道の駅「なかさつない」(中札内村)	702,0	112,4
十勝川温泉(音更町)	698,2	95,3
然別湖(鹿追町)	507,5	90,9
オンネトー(足寄町)	367,5	75,9
道立十勝エコロジーパーク(音更町)	303,1	84,6

出典：十勝観光 HP

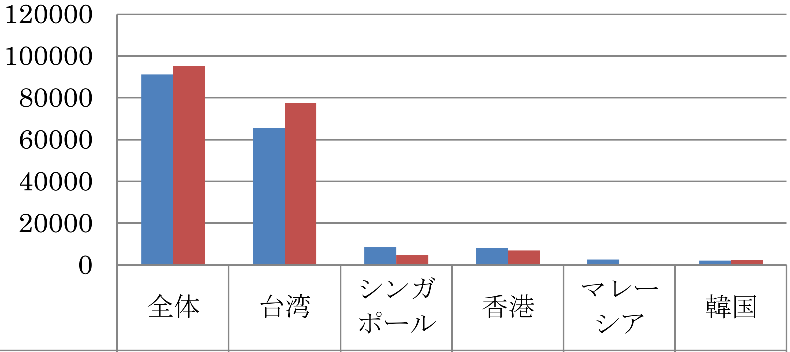
平成20年度の訪日外国人宿泊者数減少の主な要因としては、とかち帯広空港を利用する国際チャーター便(全便が台湾便)利用客数が減じた結果、十勝管内での出入国者数が減り、それに伴い宿泊者数が減少した。また、便数も減ったただし、シンガポール・香港・マレーシアに関しては宿泊施設の積極的なプロモーションが功を奏し増加となった。

【参考】 とかち帯広空港利用 外国人国際チャーター便の運航状況（平成20年度）

便数 234便 （前年度比 16.7%減 47便の減少）

出入国者数 31,572 人（前年度比 17.5%減 6,685 人の減少）

グラフ 4-4 平成 20 年度訪日外国人宿泊人数



	全体	台湾	シンガポール	香港	マレーシア	韓国
平成20年度宿泊人数	91083	65757	8515	8221	2673	2239
平成19年度宿泊人数	95348	77363	4619	6892	470	2443

出典：十勝観光 HP

4.2　主な観光スポット

愛国駅・幸福駅

　愛国駅と幸福駅は平成 20 年 7 月、「恋人の聖地」に選定された。愛国駅から幸福駅行きの切符が「愛の国から幸福へ」のキャッチフレーズとともに一大ブームとなった。

旧愛国駅…国鉄・旧広尾線の愛国駅。現在、交通記念館として当時使用していた切符、パネル、SL を展示している。
旧幸福駅…「愛の国から幸福へ」で名をはせた幸福駅。木造駅舎、板張りのプラットホーム、ディーゼルカー両が当時のまま展示されている。

図 4.1　旧愛国駅

出典：帯広観光コンベンション協会

図 4.2　旧幸福駅

出典：帯広観光コンベンション協会

ばんえい十勝

「ばんえい競馬」は鉄ソリを馬に曳かせ、全長 200m、途中に 2 カ所障害（坂）のある直線コースで競うレースのことである。35 年以上の歴史をもち、北海道が育てた世界でたったひとつの「ひき馬」競馬として内外の注目を集めている。

図 4.3　ばんえい競馬

出典：Wikipedia

十勝川温泉

　世界でも大変めずらしい植物性温泉（モール温泉）。天然保湿成分が豊富に含まれ、湯あがりの肌がまるで化粧水をまとったかのようにすべすべになることから「美人湯」と呼ばれ親しまれている。

図 4.4　十勝川温泉

出典：ホテル大平原

4.3　名物

豚丼

豚丼は帯広が発祥の地。地元では古くから親しまれている料理だが、その味が今では全国的に有名になり、観光や出張で帯広に訪れる人たちは、一度は必ず食べて帰ると言われている。市内には多くの豚丼専門店がある。

図 4.5　豚丼

出典：帯広観光コンベンション協会

帯広スイーツ

北海道の中でも帯広はお菓子が美味しい街として知られている。お菓子の価格も安いものが多い。また、スイーツにはかかせない新鮮な材料がすべて地元でそろってしまう。それゆえに、おいしいスイーツが多いといわれている。六花亭や柳月、クランベリー、ますやパンの本店などがある。

図 4.6　帯広スイーツ

出典：帯広観光コンベンション協会

十勝ビール

厳選された最高級の麦芽、ホップを贅沢に使い、ビール造りに最適な水質の清流・札内側の伏流水で丁寧に仕込む風味豊かな味わいは、ビールの本場ドイツで修行を積んだ技術者の手によって造られている。ずっと飲み飽きないハイクオリティーな十勝産ビール。地ビールコンクールで最高賞を受賞した。

図 4.7　地ビール

出典：Tokachi Beer

4.4　催し物

帯広では、三つの大きなまつりが開催される。8 月には短い夏のメインイベント「平原まつり」、10 月下旬から 11 月上旬には「菊まつり」、厳しい寒さの 1 月には「氷まつり」が開催される。これらのまつりは「帯広のまつり推進委員会」が中心に行っている。また、夏には花火大会が行われる。

●おびひろ平原まつり

十勝管内最大の夏まつり。参加して楽しむものや見て楽しめるイベントが盛り沢山。全道各地より、約 300 名が集まり開催される迫力満点の「太鼓まつり」や、若者を中心に作られたおまつり「夢降夜（ゆめふるや）」など、まつりは最高潮に盛り上がる。夜の「盆おどり」は、工夫を凝らした衣装や踊りが見所で、飛び入りでの参加もできる。

図 4.8　おびひろ平原まつり

出典：帯広観光コンベンション協会

●おびひろ菊まつり

テーマ：晩秋にロマンといろどりを　紅葉一色の帯広に華やかな彩をもたらす菊まつり。丹精込めて育てられた菊の大輪 1000 本が咲き並ぶ「菊花展」や、3000 本の菊が会場一面を豪華に埋め尽くす「総合花壇」が一番の見所で、その美しさを一目見ようと、道内各地から大勢の人が訪れている。大人から子どもまで楽しめる華やかな秋まつりだ。

図 4.9　おびひろ菊まつり

出典：帯広観光コンベンション協会

●おびひろ氷まつり

北海道内でもひときわ寒さが厳しい帯広。張りつめた寒さの中で、大雪像や氷彫刻が美しく、幻想的な世界を作り出す。夜空を彩る冬の花火や、雪の迷路、回転そり等、大人から子供まで楽しめるイベントが盛り沢山。味覚コーナーには、寒さを吹き飛ばすようなおいしい食べ物が並び、見所いっぱいのおまつり。

図 4.10　おびひろ氷まつり

出典：帯広観光コンベンション協会

勝毎花火大会

　エンターテインメント性が高い花火ショー。5部で構成され、各部ともテーマに基づき、花火、音楽、光が一体となった演出。力強く華やかな花火で、今一度、十勝の開拓精神を奮い立たせる。感動の一瞬を演出。

図 4.11　花火

出典：るるぶ.com

参照 HP

十勝観光 HP

http://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/ss/srk/shoko/05kankou/irikomi

帯広観光コンベンション協会

http://www.obikan.jp/user-ssi/obihirok/index.shtml

るるぶ.com

http://www.rurubu.com/

ホテル大平原

http://www.daiheigen.com/

Wikipedia

http://ja.wikipedia.org/wiki/

Tokachi Beer

http://www.tokachibeer.jp/